

平成27年3月19日

平成26年度 学校運営評価の報告

今年度も東新潟特別支援学校の教育活動に多大なご支援とご協力をたまわり、心から感謝申し上げます。おかげさまで、年度に計画していた教育活動を滞りなく実施することができました。

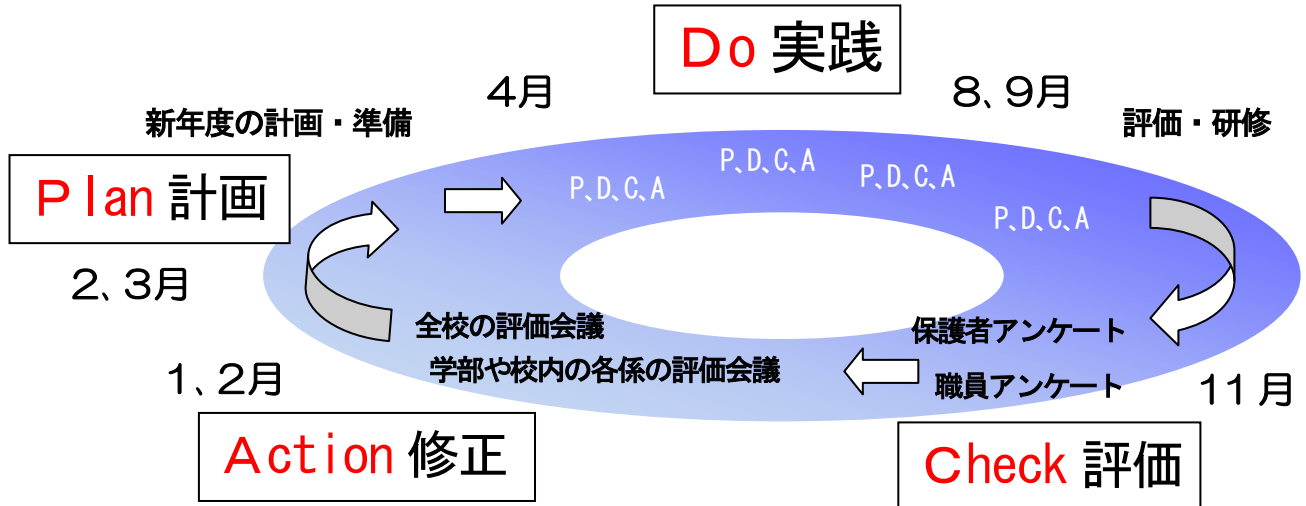
平成26年度の当校学校運営評価のまとめができあがりましたので、ご報告いたします。是非、ご高覧いただき、東新潟特別支援学校の学校運営や教育活動に、ご意見・ご助言等をいただけましたら、幸いです。

県立東新潟特別支援学校長 奈良岡 裕

東新潟特別支援学校のPDCAサイクル

- Plan** : 課題を明らかにし、計画を立てます。
- Do** : 計画に基づき実践を進めます。
- Check** : 実践が計画どおりか評価します。
- Action** : 計画に合わなかったり、新しい取組が必要なところを、修正、改善します。

各学級では、年間を通じて小さなPDCAを繰り返しながら、また、教育課程のような課題は複数年の長いスパンで仕事を進めています。



本年度も年度当初の計画に基づき、学校運営評価を行いました。

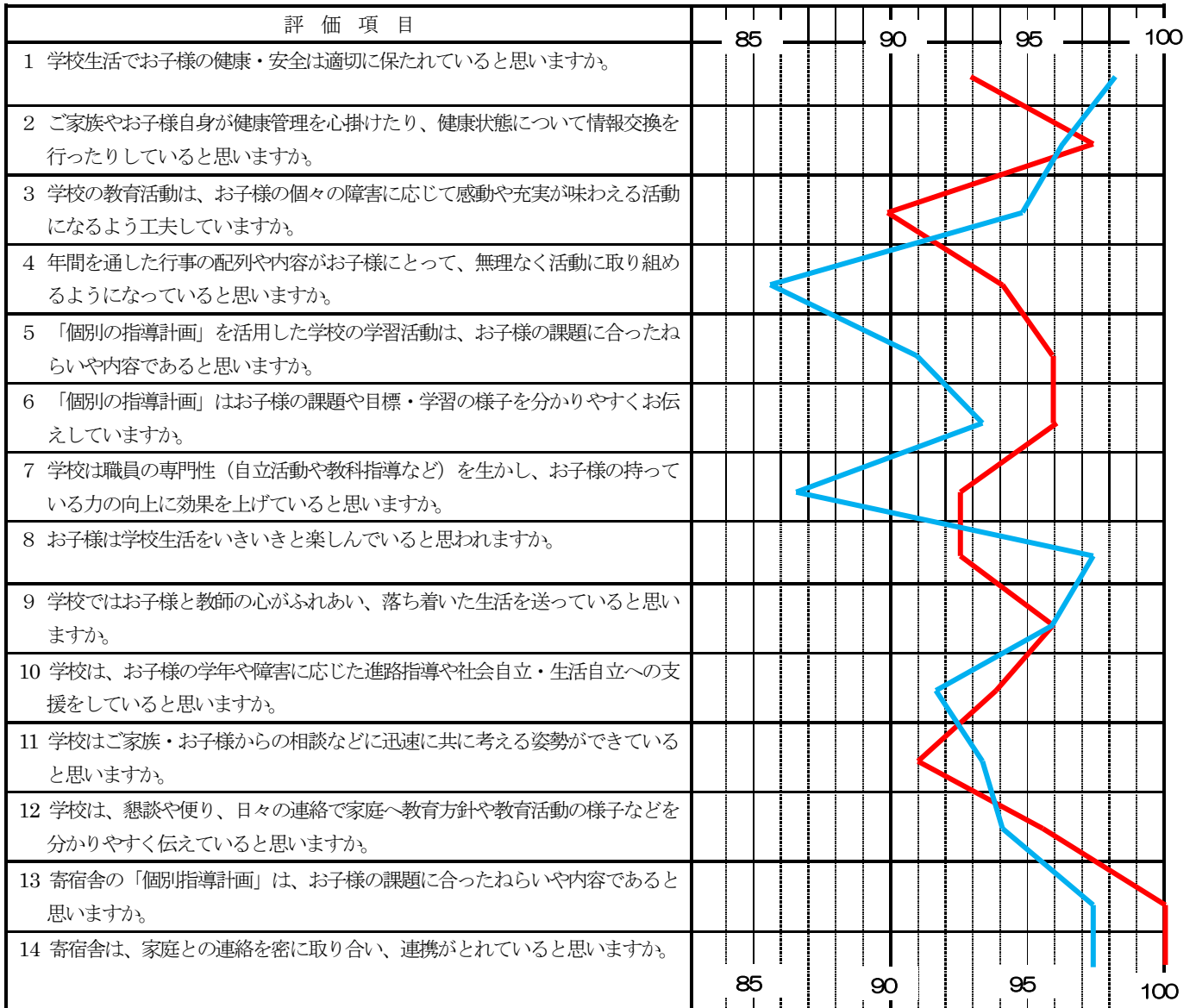
- 1 保護者アンケートと職員アンケートの結果を対比し、職員で検討しました。その後、PTA 総務役員や学校評議員の方々からご意見をいただきました。
- 2 職員が学校運営評価会議で検討し、来年度の学校課題に反映させました。以下に資料を載せましたのでご覧ください。

平成 26 年度 学校評価の概要

今年度、保護者の皆様にご協力をいただいたアンケートの結果をまとめ、職員と比較しました。

学校評価アンケート **A そう思う + B どちらかといえばそう思う** の割合(%)

保護者 ○—○ 69名
職員 □—□ 120名



保護者評価の傾向

- ・「A そう思う」又は「B どちらかといえばそう思う」と肯定的な回答の保護者が全項目で90%程度得られ、概ね良い評価をいただいています。
- ・昨年度に比べ「5 個別の指導計画の内容」、「6 個別の指導計画のわかりやすさ」の項目で評価が向上した一方、「1 健康・安全管理」、「3 個々に応じた教育活動」、「4 行事配列」、「8 生活を楽しむ」、「9 落ち着いた生活」、「11 共に考える姿勢」の項目で評価が下がりました。真摯に受け止めるとともに、職員全体でこれまでの取組を見直し、改善に向けて継続していくことを確認しました。

職員評価の傾向

- ・全体的傾向としては昨年度と同様ですが、「7 職員の専門性」、「11 共に考える姿勢」の項目で昨年度より下がりました。これは「現状を改善しなければいけない」、「問題意識を持って取り組まなければいけない」という職員が増えている結果であると考えます。